

5 里山林に適した果樹の選定と管理方法

ねらいと成果

人手が入ることによって里山林の保全を図るとともに住民憩いの場を創出するため、里山林への果樹の栽植を検討した。その結果、栽植には土壌改良と既存の雑木伐採による日射量確保が必要であり、比較的放任に耐えてよく結実する樹種はクワ、ユスラウメ、キイチゴなどであることが明らかになった。

内容

小野市新部町「かわい快適の森」予定地の土壌は、腐植や塩基に乏しく強酸性で、植生はヒサカキ等の照葉樹やネザサの茂る暗い森林になりつつあった。そこで、既存の雑木伐採による日射量確保を里山林整備事業として行い、整備地に比較的放任に耐えるとされる16樹種を栽植した。土壌改良は、各株(約1㎡)当たり油かす100g、苦土石灰100gを毎年3月に施用した(酸性土壌を好むブルーベリーは油かすのみ)。

森林整備後も林内の相対日射量は、既存の林木に遮光されたため、全天日射の約20~50%であった。この中で比較的小果樹類の生育は良く、クワ、ユスラウメ、キイチゴは、定植後2~3年で結実し、有望であることが明らかになった。一方、高木になる樹種は、生育が悪いものが多く、一因として植付け場所の日照不足が示唆された。これら高木の中で生育旺盛なものは常緑樹のヤマモモのみであった。

普及上の留意点

植付けから結実までの期間が短く、収穫時期も早い樹種を選択する。

日当たりの良い沿道や林縁部などに栽植する。結実時には鳥害対策が必要である。

キイチゴは繁殖力が旺盛で、生態系に影響する可能性がある。

真野 隆司(農業技セ・園芸部)  
(問い合わせ先 電話:0790-47-2424)

表1 「かわい快適の森」における栽植果樹の生育状況(2005)

樹種	品種	新梢長cm	樹高cm	生育概況	適性 <sup>*</sup>
アケビ	紫幸	84.3	-	ベニキジラミで衰弱	○
ザクロ	ワンダフル	27.8	160.0	1株枯死、生育不良	×
ボポー		14.3	76.8	新梢の伸びが劣る	×
カリン	伊那系	26.0	140.0	生育不良	△
サルナシ		-	-	全株枯死	×
ユスラウメ		19.2	86.5	結実良好	◎
ブルーベリー	ブルーレイ	38.0	69.3	干ばつで1株枯死	△
ブルーベリー	コビル	18.4	48.2	やや生育が弱い	△
キイチゴ	サウスランド	54.3	-	樹勢やや弱い	○
キイチゴ	ソーンレス	161.2	-	樹勢強く結実も良好	◎
スダチ		7.3	37.5	アゲハの食害が多い	×
クワ	在来種	26.5	88.2	樹勢弱いが結実良好	◎
クワ	ララベリー	33.0	86.5	#	◎
イチヨウ	藤九郎	16.3	52.3	生育不良	×
ユズ	多田錦	9.5	33.3	アゲハの食害が多い	×
アンズ	ゴートゴット	65.0	98.5	生育良好	○
クルミ	清香	22.7	41.3	2株枯死、生育不良	×
ナツメ		11.7	48.7	2株枯死、生育不良	×
ヤマモモ	秀光	54.0	69.0	活着、生育とも良好	◎



図1 ボランティアによる苗木の植え付け

<sup>\*</sup> 適性:里山林への栽培適性を判断  
 ○: 放任に耐え里山林で栽培可能  
 △: 条件(日照、土壌等)整備で栽培可能  
 ◎: 条件整備を十分行う必要がある  
 ×: あまり適さない

表2 「かわい快適の森」における栽植果樹の果実品質(2005)

樹種	品種	収穫期月/日	果重g	糖度	特記事項
ユスラウメ		6/12~6/22	1.4	13.3	結実良好で豊産性
キイチゴ	サウスランド	6/17~6/20	1.7	16.1	食味良好
キイチゴ	ソーンレス	6/17~6/23	2.7	12.2	最も豊産性
クワ	在来種	6/1~6/17	1.8	15.1	若木からよく結実
クワ	ララベリー	6/1~6/17	3.1	11.9	大粒、糖度やや低い



図2 クワ果実(左:ララベリー 右:在来種)